故森田英利教授遺児育英基金募金趣意書

謹啓

早春の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。

さて、岡山大学学術研究院・環境生命自然科学学域・応用動物科学コース・動物応用微生物学研究ユニットの森田英利教授におかれましては、かねてより病氣療養中のところ、令和6年12月14日に急逝されました。享年61歳とあまりにも早すぎるご逝去でした。

森田先生は1986年3月に岡山大学農学部をご卒業後、1991年3月に同大学院自然科学研究科博士課程を修了（学術博士）され、同年5月から米国ミネソタ州立大学に博士研究員としてご留学されました。その後、1992年10月にご帰国、麻布大学獣医学部の助手として採用され、1996年4月から同講師、2000年4月から同助教授、2010年10月から同教授に昇任されました。そして、2015年4月から岡山大学大学院環境生命科学研究科教授、2021年4月から同学術研究院環境生命科学研究科教授、2023年4月から同グローバル人材育成院教授を歴任されました。その間、厚生労働省薬事・食品衛生審査審議会・食品衛生分科会・新開発食品調査部会審査委員、内閣府消費者委員会・新開発食品調査部会・新開発食品評価第二調査会委員、岡山県畜産協会・生乳検査運営委員会委員など数々の外部委員を務められるとともに、日本乳酸菌学会・庶務担当理事および評議員、日本畜産学会・常務理事および機関誌編集委員、日本NO学会・評議員、腸内細菌学会・情報広報委員等を歴任され学会の運営においても多大な貢献をされました。

森田先生は学生・若手研究者の頃より、乳酸菌の遺伝子改変に着手され、そのラクトース代謝やクエン酸発酵、NO生成のメカニズム等について研究されていました。これらのご研究は、乳加工や肉加工といった産業面での進展に寄与しただけでなく、まだ黎明期であった乳酸菌分野への遺伝子工学の導入に率先して取り組まれた点においても卓出していました。そして、2000年代に入ってから、乳酸菌等の有用細菌のゲノム解析にいち早く取り組まれ、腸管由来乳酸菌 *Limosilactobacillus reuteri* が産生する抗菌物質であるロイテリンの生合成機構の解明や、 α 溶血性連鎖球菌 *Lactococcus garvieae* の病原性遺伝子の特定に向けたご研究では、現在においてもその分野において枢要な成果の1つとなっています。さらに、2000年代後半からはヒトや哺乳動物の腸内・口腔内微生物叢（マイクロバイオーーム）解析に着手され、現在に続く、次世代シーケンサーを用いたヒトの健康・疾病とマイクロバイオーームとの関連を解き明かす研究分野における先駆者となりました。その成果は、多くの先生方との共著で、Nature 誌、Science 誌、Cell 誌等の高名な雑誌にいくつも掲載され、皆様もご存知のところかと思えます。

今後はその研究の更なる応用展開が強く期待されていただけに、森田先生を喪った事は痛惜の念に堪えません。ここに森田先生の科学研究・教育に対するご貢献に心より敬意を表すると共に、お人柄を偲び、深く哀悼の意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。

ご遺族は、美佐子夫人と双子のお子様お二人（玲美さんと珠利さん；中学 2 年生）の三人で、それぞれ大切な時期を迎えられるところであります。このような折りに、不幸な出来事にみまわれたご遺族の深い悲しみと今後のご苦勞はいかばかりかと拝察いたします。

特に、お子さまたちが社会に巣立たれるまでの教育資金など、ご遺族にかかるご負担は今後長きにわたって大きなものと想像されます。

つきましては、誠に僭越ではございますが、このような事情を考慮いたしまして、岡山大学関係者のあいだで相談のうえ、ご遺族を励まし、今後のお子様たちのご成長の一助となることを願い、このたび遺児育英基金を募ることといたしました。何卒ご高配上、皆様のご賛同とご協力を賜りたく存じます。

謹白

令和 7 年 4 月

記

1. 応募金額 一口 2,000 円
2. 募金期限 令和 8 年 3 月 31 日
3. 送金方法 銀行振込
銀行名 ゆうちょ銀行
支店名 一三九（イチサンキュウ）店
預金種目 当座預金
口座番号 0114150（ゆうちょ銀行口座記号番号 01320-8-114150）
口座名称 故森田英利教授遺児育英基金
(コモリタヒデトシキョウジュイジイクエイキキン)

4. 運営管理事務局
〒700-8530 岡山市北区津島中 1-1-1 岡山大学農学部
荒川健佑
Email: karakawa@okayama-u.ac.jp, Tel 086-251-8353

なお、領収書については、決算書の公表をもって代えさせていただきます。別途領収書が必要な方はお知らせください。

5. 発起人

岡山大学学術研究院・環境生命自然科学学域長 森也寸志

岡山大学・農学部長 一瀬勇規

岡山大学学術研究院・環境生命自然科学学域・応用動物科学コース 舟橋弘晃

岡山大学学術研究院・環境生命自然科学学域・応用動物科学コース 西野直樹

岡山大学学術研究院・環境生命自然科学学域・応用動物科学コース 畑生俊光

岡山大学学術研究院・環境生命自然科学学域・応用動物科学コース 辻 岳人

岡山大学学術研究院・環境生命自然科学学域・応用動物科学コース 木村康二

他、有志一同